

# 歯と口の健康フェアを終えて

歯学科6年 小海由佳

去る平成29年6月4日（日）、イオンモール新潟南にて新潟市・新潟市歯科医師会主催の「歯と口の健康フェア」が開催されました。参加団体は主催団体に加え、県歯科衛生士会、市歯科技工士会、明倫短期大学、新潟大学歯学部で、本学からは辻村先生（摂食嚥下リハビリテーション学分野）と歯学科6年生10名が参加しました。

毎年様々なテーマでフェアが開催されており、今回は「歯と口からのアンチエイジング」というテーマでした。テーマの背景には急増する高齢者の健康寿命をサポートしていくために身体の健康を口腔の健康から支えることの重要性があります。

企画内容としてはそれぞれの参加団体がブースを設け、お口の体操、健口くんによる口腔機能測定、無料歯科相談、技工物製作の実演やパネル展示等でした。私たちと歯科医師会の先生とで作成したアンチエイジングクイズと称する歯科に関する質問を、来場者に回答していただき、その場で私たちが解説しました。その他にも歯科衛生士会のブースや総合案内受付、呼び込み、来場者に配る風船の製作など裏方のお手伝いもしました。

フェア当日は親子連れからお年寄りまで様々な方にお立ち寄りいただきました。私が担当したのは、クイズのブース、歯科衛生士会のブース、総合案内受付でした。現在、臨床実習の一環で総合診療部にて診療の一端を担わせていただいています。その中で、ご高齢の患者様とお話する機会が多いため、当日もご高齢の方に対する接し方やアドバイスの仕方は自然と行うことが出来ました。一方、子供やその親御さんとお話する機会は少ないため、親御さんの子供の歯に関する質問になかなか上手く答えることが出来ませんでした。このことは、自分の知識の偏りに気がつく良いきっかけとなりました。歯科医療従事者として

最低限知っておかなければいけないこと、説明出来るようにならなければいけないことが、まだまだ沢山あると感じました。

また、歯科に関するクイズの1つに“シーラントは虫歯を予防するための詰め物である”という質問がありました。多くの方が正解する中、一部の親御さんは“シーラント”という言葉をご存じではありませんでした。う蝕の罹患率の低い新潟県であっても、まだ知らない方がいらっしゃることに少し驚きを感じました。それと同時に、このフェアが歯科に関する予防や啓発活動の一端であることを感じた場面でもありました。

私は地域歯科保健活動に興味があり、以前にクラブ活動の一環として実際に参加したことがありました。その中で、歯科医師会の先生方と交流する機会もあり、先生方がどのように歯科に関する予防や啓発事業を行っているかを実際に見たい、知りたいという思いで今回のフェアに参加しました。このフェアを通じて当日の来場者だけでなく、開業医の先生方や技工士の方など様々な職種の方とも交流することが出来る非常に貴重な機会を得ることが出来ました。引率して下さった辻村先生や主催団体である新潟市、新潟市歯科医師会、その他の団体の皆様には大変感謝しております。



歯科衛生士会のブースにて（筆者）

す。学内の臨床実習では経験出来ない貴重な機会をいただきました。歯学部生とはいえ、歯科医療に関わっている者として未熟で至らない点も多くあったと思います。しかし、この貴重な機会を先輩が経験し、様々なことを考え、見つめ直す機会として、今後もこのフェアに新潟大学歯学部として参加して行ってほしいと思います。



フェア終了後にて（本学からの参加者）

